

広報させば 情報カレンダー 05. 4月



日	月	火	水	木	金	土
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (5月は未定) (13~15時、佐世保商工会議所)		毎月第2金曜 発明相談 (10時~15時30分、市役所商工労働課)			1 不動産鑑定士による無料相談会	2 佐世保市・吉井町・世知原町合併記念式典
3	4	5	6 西海橋・観潮会ウイーク~12日 中小企業金融公庫出張相談	7 市立中学校で入学式	8 発明相談 市立小学校で入学式 春の花市~24日	9 水族館半日飼育体験(23日も) 動物舎探検隊(23日も)
10	11	12	13	14	15 出前保育「みんなよっといでー!」(22日も)	16
17 ハンギングプランター作り講習会	18	19	20 2005ながさき陶磁展・三川内展~24日	21	22	23 ながさきおはなしフェスティバルinさせば
24 チャレンジ! 科学工作 ヒツジの衣がえ(毛刈り)	25	26	27 市立総合病院の健康教室	28	29 みどりの日	30 春のスケッチ大会 天体観望会
動植物画スケッチ大会 ~4月5日 新入学児童の交通安全教室 ~4月7日 西海橋・桜まつり、観潮会ウイーク ~4月12日 世界のナマズ展 ~5月31日			5月の主な行事予定 5/1 三川内焼はまぜん祭り~5日 5/5 市亜熱帯動植物園で中学生以下の入園無料、 九十九島遊覧船・こどもの日クルーズ			

テレホンガイド

救急・火災

医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999
エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス
shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第3日曜の13時~16時は、休日教育相談を受け付けています)

女性相談

スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)
4月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
月 内視鏡の進歩(消化管)
火 関節リウマチは治る病気になってきました
水 子どもの救急シリーズ 発熱時のけいれん
木 顔の皮膚炎 金 介護と骨折
土、日 精子が少ないといわれたら

人のうごき (3月1日現在)

総人口 238,677人 (157)
男 112,356人 (83)
女 126,321人 (74)
世帯数 94,001世帯 (33)

2月中のうごき

転入 524 転出 611
出生 149 死亡 219

見て、聞かせば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC (9時25分) NIB (11時25分)
NCC (11時40分) KTN (17時25分)

ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

「九十九島PR隊」を募集します

させば飛躍年隊が九十九島をピーアール

西海国立公園50周年のこし、させば飛躍年隊は「九十九島PR(ピーアール)隊」として日本各地で九十九島の魅力を発信します。楽しい仲間たちと、楽しく踊りながら、楽しくピーアール活動をしてみませんか。

対象年齢、性別は不問 親子3世代での参加もどうぞ。

練習日 4月~5月中に週2回



お問い合わせ

YOSAKOIさせば祭り実行委員会事務局
(させば市民活動交流プラザ Soup-Upさせば内)
☎26-4351 ファクス26-4353
Eメール: entry@yosa.jp

歴	史	散	歩	れきしさんぽ 477
---	---	---	---	---------------

地蔵平の芭蕉句碑 (木原町)

三川内三皿山の一つ木原は、佐賀県境に接した古窯の地です。古い地蔵堂にゆかりの地蔵平と呼ばれるところに、壊れた芭蕉句碑が残っています。「梅が香にの津と日の出る山路かな」の句が読み取れますが、建てられた年代がいつかは分かりません。

実はこれと同じ句が書かれた碑が、数キロメートルも離れていない佐賀県側の柿右衛門窯に近い天満宮にあるのです。こちら年代は不詳ですが、西国行きを希望しながら果たせなかった芭蕉の高弟たちが、師の7回忌に当たる元禄13(1700)年に長崎地方を訪れるなど、以後幕末まで相次いで九州各地に足を伸ばし、句碑を残しています。早岐神社の「もろこしの俳諧問ん飛胡蝶」と書



ひきで えがらつ 引手、絵唐津などを焼いて現代まで連綿と続いています。

(筒井隆義)

かれた句碑は文政7(1824)年の建立です。三川内山には「やまさとは まんざい遅し梅の花」と書かれた句碑があり、これも年代不詳です。

江戸時代中・後期は町人文化が花開き、句を趣味とする人たちが蕉門の俳人を招いて興行を盛んに催しました。記念の句碑が九州に200以上もあり、離

島の壱岐から南は喜界島(鹿児島県)までの広範囲にわたっています。

平戸藩や佐賀藩の重要な特産品だった陶磁器を生産する三川内や有田地方は、それだけ豊かな収入に恵まれ、窯元の人たちは趣味の句作を楽しむゆとりがあったのでしょう。地蔵平には、元和3(1617)年ごろ、麓の本から移ってきた人々が、四つの窯を開いて刷毛目、粉

